

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第38号 平成23年11月3日

光希初勝利&初安打、緑も久々打点！

	1	2	3	4	5	6	7	R
N	0	1	0	0	0	0	0	1
G	1	1	0	0	4	0	×	6

2併殺も決めた今日の守備は、チームを支えた。



11/3日(土)、HOMERUNNIGHTERSとの6年ぶりの2度目の対戦行った。前回は、大黒で7：7のDRAWだっただけに、今日はきっちり勝利を得たいものである。そのマウンドは、2試合目の光希、前節は好投しながら、敗戦しただけに、今日のマウンドは楽しみである。その立ち上がり、先頭を5球で二ゴロに斬り一死、次打者を三球三振で二死、しかし、三番にはレフト前ヒットで出塁を許したが、4番を空三振に斬り、上々の立ち上がりを見た。その裏の攻撃、先頭たかあきが相手失策で出塁、ボールテッドで二塁へ、二番打者の時に三盗を決め、早くも先制のチャンスを迎える。結局二番は四球で出塁、今日三番に入った哲也に期待が高まったが、打球はショートへ、ややハンプルしている感にサードたかあきがホームへ素晴らしい走塁を見せ、先制点を挙げた。続く今日4番に入った祐太郎が二死後レフト前安打で出塁したが、次打者の打球は、野手正面のライナーでこの回は1点に留まった。二回の表、この回先頭打者をレフト前ヒットで出塁、その後、WPで二塁進塁を許す。次打者は三ゴロに斬るも、この間に三塁へ走者が進塁、次打者の時にまたもやWPで失点した。この打者を含め2連続四球を与え、一死後ピンチとなったが、この回最後は空三振に斬り、最少失点の1点に抑えた。そして3回の表、最高のピッチングを光希が披露した。この回先頭を6球、次打者を4球、そして4番打者も4球で、三者連続三振でこの回をびしょりと抑えた。4回もビショリと行くか?と思ったが、この回先頭を安打で出塁、次打者は四球をさっきの回が嘘のような内容、そして次打者は、三振に斬ったが、後続をまたもや四球で出塁。その後は内野ゴロ2つと打たせて捕り、この回を0点に抑え、マウンドを降りた。2番手としてマウンドに上がった、光希の兄貴分祐太郎、久々のマウンドであったし、肘の心配もあったが、何とか投げきった。が、内容は彼らしくない、打者11人に対して、5つの四球を献上、が、ここは守備が見せた。梶原の盗塁阻止・更には4回。6回と併殺を決め、投手を助けると共に、チームを救った。打線においては2回、この回先頭の光希が自身初安打を記録し出塁、その後二盗、二番の打球処理を相手投手がFC、更に三番が四球で無死満塁とした。ここで4番祐太郎が四球、押し出して1点、続く梶原の打球をショートがハンプルし、深沢が生還、この送球エラーの間に、哲也が二塁から一塁生還し3点目、更にこの場面でも光希がきっちり右犠飛を決め、4点を加え、今日のゲームを勝利した。

振り返ってみると、今日の投手の与四球は若干多かったように感じる。しかし、四球をだしてもその後崩れる事がなかったのが、失点をしなかった要因の一つ、更には、失策が0だった事が一番大きいと感じる。

我がチームは、守備で流れを掴み、投手を励まし、打線に繋げる。今日はまさにこれが出来たのではないかと感じるゲームであった。今期3連敗が無かっただけに、今日勝利した事により、未だ連敗は、今期2つとまり・・・